

## 飯縄山山行報告書

(山域) 戸隠周辺 飯縄山

(コース)

一の鳥居園地駐車場～奥ノ院～飯縄山～一の鳥居園地駐車場

(日時) 3月20(月曜日)

(天候) 晴れ(微風)

(参加者) CL:内堀(記録)・牛坂・田邊

(山行タイム)

一の鳥居園地駐車場 8:40～飯縄山 11:20/11:50～一の鳥居園地駐車場 13:30

(山行報告)

前日(3/19)待合わせして、15:00前後に高速道路に乗る。この日は三日連休の真ん中で、高速道路の渋滞が色々発生しており、圏央道に向かい大栄JCTより鶴ヶ島JCTを目指すものの、渋滞が続き、鶴ヶ島まで断続渋滞発生。イライラするものしょうがないと諦める。鶴ヶ島から順調に進み須坂長野東ICを降りてスーパーに立寄り、宴会用・明日の朝食と買い物を済ませ、道の駅「オアシス小布施」に向かう。途中、テントを持って来ていないことに気付く。困った。渋滞が続き慌てて忘れたようである。宴会も寒い外である。道の駅では風が無く屋根がある場所を見つけ銀マットを敷いて宴会を始める。寒い中々酔わず酒の量が進んでしまう。渋滞の影響からのみ始めが21:00と遅く、ピッチを速める。皆さんの吸い込みが良かったため、凄なお酒の量を全て飲んでしまった。相談の結果、野外での就寝は避け、車の中と決める。事前に後部座席シートを倒しフラットにする。銀マット・エアーマットを敷いて準備完了。23:30過ぎにお開きにして車の中に吸い込まれ、何とか3人寝る事が出来た。意外と熟睡したようである。

私は朝方に足が攣ってしまい。狭い中で寝たことが影響したのかも知れなかった。

翌朝6:00前に起床して、朝食の準備を用意する。今回の女子は意外とヘビーな食べ物が好きの様で、豚骨ラーメン(ラ王)3人前を作り、無くなることもなく食べ切った。

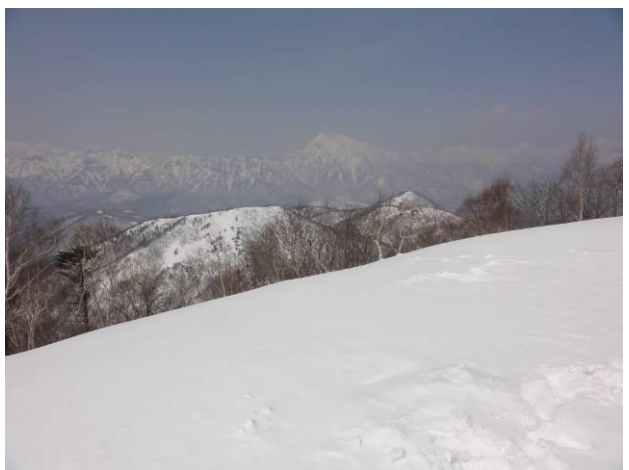
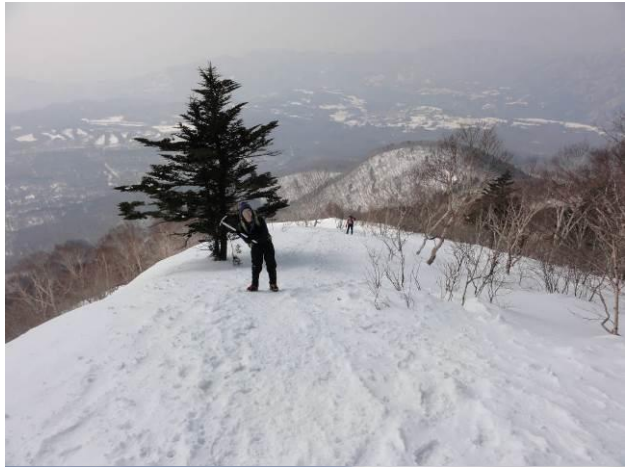
食事後は山の準備を済ませ、7:20過ぎに登山口を目指す。長野市内は雪もなく快調に進む。坂中峠を過ぎた辺りから雪が出現して、駐車場に到着する頃には道路以外は一面雪化粧であった。

登山口で最後の準備を済ませ、気合を入れて出発する。車道を歩き奥宮飯縄大明神の鳥居に到着する。左側に入る。ここからは登山道である。鳥居を潜り本日の登山祈願を行う。初めより雪は付いているが傾斜も緩いため、つぼ足で登り始める。深夜の冷え込みから登山道は少し氷気味である。登り続け50分経過した所で、休憩とアイゼンを装着する。少し登った所で駒つなぎの場に到着する。夏の道と違い冬の道は尾根直登コースである。安全確保からロープが張られていたが、ロープを使うことなく、ピッケルとアイゼンで無事通過する。更に登り続けると、樹林帯が終了して視界が急に広がる。後立山連峰が目飛び込んでくる。意外と見えている。感激である。

更に登り続けるとピークに到着、飯縄神社があるが雪でスッポリ埋まっていた。その先に、人が見え山頂である事が判った。そこから10分程度で山頂に到着する。少し霞気味であるが、しっかりと山々が見えている。左から後立山連峰・手前を見ると、戸隠山・高妻山と続き、右側には黒姫山、更に奥には妙高山が見えている。やはり、日本海に近い山々は豪雪地帯である。山が真っ白に見えている。山頂では休憩・記念撮影と済ませ、下山を開始する。三連休最終日のため、渋滞が見込まれるため、早めに下山開始する。登りと違い、あっという間に下山してしまった。

急坂の駒つなぎの場も慎重に無事降りられた。無事駐車場に到着して、帰り支度をして、温泉に向う。今回は長野市内にある「ぶらっと稲田」で汗を流す。入浴後は、少しガソリンを入れ、須坂長野東ICから藤岡JCTを目指す。途中、渋滞情報があり、見るたびにドンドン広がり2時間以上かかるとの情報から、藤岡JCTからは北関東道に迂回して、岩舟JCTでも北関東道に進みかなり大回りを行い、常磐道に入りつくばJCTから圏央道に進み、大栄JCTから東関東道に、やっとの思いで、帰宅する事が出来た。このコースは少しの渋滞で済み、予定直により60分程度のオーバで済んだ。雪を求めて行くとドンドン遠くなることを実感した。これからは、閉鎖し

ている道路の開通を待って、アルプスや山深い雪山を求めて行くのであろう。  
飯縄山山頂からの景色は良い物であり、青空と山々を見る事で、ブルーが映える山である事は間違え無さそうであった。今度は雪深い2月頃にわかん・スノシューで登りに来たいと思った。





以上